

平成 26 年度（平成 27 年 3 月期）

# 事業報告書

（平成 26 年 4 月 1 日から、平成 27 年 3 月 31 日まで）

平成 26 年度（平成 26 年 4 月 1 日から、平成 27 年 3 月 31 日まで）に行なった主な事業は下記の通りです。

## 1. 公益目的事業の実施状況

### 公益目的事業

公1	公2	公3	公4	公5	公益共通
『タイ国情報』発行	書籍刊行	講演会・セミナー	日本語書籍寄贈	図書館	HPを通じた情報発信

### (1) 機関誌『タイ国情報』の発行（隔月発行）および復刻事業 [公1]

① 『タイ国情報』を計画通り 6 回（平成 26 年 3・5・7・9・11 月号、平成 27 年 1 月号）発行しました。費用（直接費用のみ、人件費等配賦費用は除く）は、合計 4,148 千円（印刷製本費 2,022 千円・諸謝金<執筆料>1,936 千円・通信費 190 千円）となり、前年度に比べ 319 千円増加しました。主な要因は、タイの政治混乱・クーデターの発生に伴い、記事の量が増え、印刷製本費が 151 千円、執筆料が 167 千円、それぞれ増加したことです。このため、1 回あたりの平均発行費用は 691 千円になり、平成 25 年度比 53 千円の増加となりました。今後も、『タイ国情報』直接費用（印刷費、執筆料）をコントロールしつつ、内容のさらなる充実を図ります。

『タイ国情報』直接費用		（単位：千円）		
		平成26年度	平成25年度	増減
合計		4,148	3,829	+ 319
内訳	印刷製本費	2,022	1,871	+ 151
	諸謝金（執筆料）	1,936	1,769	+ 167
	通信費	190	189	+ 1
1回あたり平均発行費用		691	638	+ 53

② タイで 2013 年秋から激しくなった政治対立は 2014 年 5 月 22 日のクーデターを引き起こしました。クーデターは 2006 年 9 月 19 日以来、約 7 年半ぶりのことです。2015 年末に ASEAN 経済共同体（AEC）の発足を控え、ますます注目度が高まるであろう ASEAN の中核を担うタイの政治・経済・社会の動向について、フォーラム形式で開催した講演会の講演録をはじめ、暫定憲法の翻訳などを掲載し、記事の充実を図りました。また、個人会員や新たにタイ研究者からの寄稿を募り、執筆者の多様化を図りました。このため、1 冊あたりページ数 156 ページと、前年度比やや増加しました。

<平均ページ数（年度発行分平均）>

23年3月期 192ページ	⇒	24年3月期 148ページ	⇒	25年3月期 151ページ	⇒	26年3月期 149ページ	⇒	27年3月期 156ページ
------------------	---	------------------	---	------------------	---	------------------	---	------------------

③ 研究資料として活用されるよう、また、当協会の認知度が高まるよう、会員のみならず、大学・公立図書館、大学研究室、研究機関などへの納本を継続しています。

・配布先数： 約 400 ヲ所

（うち、図書館・大学研究室、研究機関など、約 150 ヲ所）

④ 有料頒布については、前年度に比べ減少し、平成 24 年度（平成 25 年 3 月期）並みとなりました。

<有料頒布金額推移>

23年3月期 356千円	⇒	24年3月期 209千円	⇒	25年3月期 110千円	⇒	26年3月期 146千円	⇒	27年3月期 101千円
-----------------	---	-----------------	---	-----------------	---	-----------------	---	-----------------

(2) 書籍刊行事業 [公 2]

平成 26 年度は、書籍刊行は実施しませんでした。

(3) 講演会およびセミナー開催事業 [公 3]

① 平成 26 年度は、前述のとおり、AEC 発足を前にクーデターが発生し、今後のタイの経済、社会、政治の動向への関心が高まると考え、『タイ国情報』の執筆者を中心にフォーラム形式でタイの経済、社会、政治について解説する講演会を開催し、通常の講演会と合わせて計 4 回主催しました。会員のみならず、当協会のホームページ等を通じて、一般の方、アジア諸国の関連団体などから、4 回合計で約 250 名の方にご参加いただきました。

また、平成 25 年度に続き、大阪でも講演会を開催し、多数の皆様にお集まりいただきました。

<講演会の概要>

- ・平成 26 年 7 月「直接投資受入国から投資国へ転換するタイ、マレーシア」  
講 師／熊谷 章太郎 氏（㈱日本総合研究所）
- ・平成 26 年 9 月「ASEAN 経済共同体（AEC）時代到来に向けた日本企業のタイ拠点の活用」  
講 師／助川 成也 氏  
（中央大学経済研究所客員研究員、ジェトロ企画部事業推進班所属）
- ・平成 26 年 10 月 タイ・フォーラム「タイの今後を考える」

モデレーター／赤木 攻 氏（大阪外国語大学名誉教授）  
講師／小林 秀明 氏（帝京大学沖永総合研究所教授、元駐タイ大使）  
玉田 芳史 氏

（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科教授）

大泉 啓一郎 氏（㈱日本総合研究所上席主任研究員）

・平成 27 年 1 月「タイ経済の現況と日系企業の進出」

講師／江川 暁夫 氏（桃山学院大学経済学部経済学科准教授）

中寫 知義 氏（三井住友銀行グローバルアドバイザー一部部長）

② また、一般社団法人世界貿易センター東京が平成 26 年 9 月に開催した「インドシナ経済圏のポテンシャル」に関する国際コンファレンスを後援し、2015 年に予定されている AEC 発足に関連して、大メコン圏（GMS）と CLM 諸国の発展について情報提供の機会を支援しました。今後も他団体が主催する講演会などのご紹介をしてみたいと思います。

・平成 26 年 9 月 第 8 回「アジアを考える」

「GMS の発展とタイの役割」

講師／パタマ・ティーンラビシットサグール

（タイ国家経済社会開発庁（NESDB）上級顧問）

「CLM 諸国の投資ポテンシャルと発展のための課題」

講師／サラン・ソーパ

（プノンペン経済特区カスタマーサービスマネージャー）

プーペット・キョフィラボン（ラオス国立大学准教授）

ニ・ラー（チェンマイ大学講師）

③ 平成 26 年度も、平成 25 年度に再開したタイ映画に関するセミナー「タイの名作映画を楽しむ会」を実施しました。昨年度と同様、『タイ国情報』に「タイの映画」を連載中の東京外国語大学大学院の宇戸教授に数多くのタイ映画の中から文芸作品を選んでいただきました。映画会当日は宇戸教授に作品の見どころ、時代背景、タイ文化の変遷などを解説いただき、鑑賞後、質疑応答を行いました。

<上映作品>

「怪盗ブラック・タイガー」 ウィシット・サーサナティアン監督

(4) 日本語書籍寄贈事業 [公 4]

タイで日本語教育を行なう中高校・大学などに日本語書籍を送るプロジェクト（過去、バンコクで 2 回、北部チェンマイを中心に 1 回、東北部で 1 回、南部で 1 回実施）は、本邦の協力団体や会員等から書籍を寄贈いただいたほ

か、タイ側での協力も得て、平成 27 年 2 月に第 6 回として東北部の中高等学校、大学 20 校、北部の大学 1 校に合計 1,119 冊を寄贈しました。在タイ日本大使館、国際交流基金、タイ国元日本留学生協会（OJSAT）などの協力を得て、寄贈先の選定、送付ルートの確認などを実施しました。

< 協力団体 >

日本：株式会社学研ホールディングス、社団法人全国学習塾協会、日本放送協会（NHK）、株式会社パイ・インターナショナル、株式会社小学館、泰日経済技術振興協会（ソーソートー）、三井倉庫ホールディングス株式会社、三井住友海上火災保険株式会社、千代田区立一橋中学校、千代田区立千代田小学校、そのほか個人の方  
タイ：在タイ日本国大使館、国際交流基金（バンコク）、タイ国元日本留学生協会（OJSAT）

(5) 図書館の運営事業 [公 5]

平成 20 年 4 月に蔵書約 500 冊を基に開設された当協会図書館は、協会役員・会員をはじめとする多くの方々からの寄贈や独自購入により、平成 27 年 3 月末には蔵書約 5,000 冊の規模になりました。大学や研究機関のタイ研究者、タイで業務を行う企業の方、学生、タイに興味をお持ちの個人の方などにご利用いただいております。

(6) ホームページを通じた情報発信 [共通]

ホームページを通じ、当協会の活動状況、『タイ国情報』目次、所蔵図書リストなどを提供するほか、講演会やその他の当協会活動への参加案内など、当協会からの情報発信を行っています。

## 2. その他の事業の実施状況

(1) 「納涼の夕べ」を開催

夏の恒例行事である「納涼の夕べ」をタイ王国大使館との共催により、平成 26 年 7 月 29 日に、平成 22 年以来 4 年振りに在京タイ王国大使館で開催しました。参加者は昨年（約 180 名）より大幅に増加し、当協会会員、大使館関係者、関連団体などから、約 250 名となり、タイ国に関係する方々の親睦交流を図りました。

## 3. 協力事業等の実施状況

(1) タイ王国大使館が主催するプミポン国王陛下誕生日祝賀パーティー（平成 26 年 12 月 5 日）に際し、盛花を贈呈すると共に、祝賀メッセージを英字紙に掲

載しました。

(2) 日本タイ学会主催の研究大会に参加し、タイ研究者との交流を深めるとともに、『タイ国情報』の執筆者の発掘に努めました。

・平成 26 年 7 月 5 日（土）、6 日（日） 於：京都大学

(3) 神田外語大学および在京タイ王国大使館共催の「第 9 回タイ語弁論大会」を後援すると共に、賞品を提供しました。

・平成 26 年 12 月 20 日（土） 於：神田外語大学ミレニアムハウス・ホール

#### 4. 協会の運営状況について

##### (1) 会員増減

法人会員は 5 社減少して合計 101 社となりました。個人会員は 12 名減少して計 139 名となりました（いずれも平成 27 年 3 月末現在）。今後共、会員獲得に努めてまいります。

以上

## 事業報告の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、記載する事項はありません。

## 平成26年度（平成27年3月期）貸借対照表

（平成27年3月31日現在）

[単位:円]

科 目	当 期	前 期(26/3月末)	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現預金			
現金	0	0	0
預貯金	6,254,248	7,830,799	▲ 1,576,551
現預金計	6,254,248	7,830,799	▲ 1,576,551
流動資産合計	6,254,248	7,830,799	▲ 1,576,551
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	19,000,000	19,000,000	0
基本財産合計	19,000,000	19,000,000	0
(2) その他固定資産			
図書館所蔵書籍	1,161,756	1,108,356	+ 53,400
敷金	470,934	470,934	0
電話加入権	74,600	74,600	0
什器備品	1	1	0
その他固定資産合計	1,707,291	1,653,891	+ 53,400
固定資産合計	20,707,291	20,653,891	+ 53,400
資産合計	26,961,539	28,484,690	▲ 1,523,151
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金			
源泉所得税	73,802	58,282	+ 15,520
社会保険料	36,965	36,576	+ 389
預り金計	110,767	94,858	+ 15,909
流動負債合計	110,767	94,858	+ 15,909
負債合計	110,767	94,858	+ 15,909
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	26,850,772	28,389,832	▲ 1,539,060
(うち基本財産への充当額)	(19,000,000)	(19,000,000)	(0)
正味財産合計	26,850,772	28,389,832	▲ 1,539,060
負債及び正味財産合計	26,961,539	28,484,690	▲ 1,523,151

## 貸借対照表附属明細書

[単位：円]

## 1. 預貯金の明細

種 類	残 高
普通預金 (三井住友/日本橋)	2,074,598
〃 (三井住友/日本橋) <預り金口>	110,767
〃 (三菱東京UFJ/日本橋)	11,484
振替貯金	57,399
定期預金 (三菱東京UFJ/日本橋)	4,000,000

## 2. 基本財産の明細

種 類	期首残高	期中増減額	期末残高
定期預金 (三井住友/日本橋)	19,000,000	0	19,000,000

## 3. 図書館所蔵書籍の明細

種 類 ・ 内 容	数 量	期末残高
図書館に所蔵する閲覧用書籍	2,864 冊	1,161,756

## 4. 敷金の明細

種 類 ・ 内 容	期末残高
協会事務所 (三井住友銀行神保町ビル別館2階) 賃借に関する敷金	470,934

## 5. 電話加入権

種 類 ・ 内 容	期末残高
NTT固定 2回線 (音声、FAX)	74,600

## 6. 什器備品の明細

什器備品の物件	取得価額	減価償却累計額	期末残高
東芝製プリンタ複合機	465,551	465,550	1



## 平成26年度（平成27年3月期） 正味財産増減計算書

（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）

(A)

(B)

[単位：円]

科 目	実 績	25年度(26年3月期) 通年実績額	差 異 (A-B)	備 考
1 I 一般正味財産増減の部				
2 1. 経常増減の部				
3 (1) 経常収益				
4 ①基本財産運用益	4,750	4,750	0	
5 基本財産受取利息	4,750	4,750	0	会費支払の期ずれ(▲370千円)
6 ②受取会費	16,169,028	17,159,055	▲ 990,027	個人会員12名減(▲120千円)
7 賛助会員受取会費	16,169,028	17,159,055	▲ 990,027	法人会員5社減(▲500千円)
8 ③事業収益	118,721	162,958	▲ 44,237	
9 機関誌発行・書籍発行事業	101,221	146,038	▲ 44,817	
10 講演会・セミナー事業	16,000	13,200	+ 2,800	
11 図書館運営事業、他	1,500	3,720	▲ 2,220	
12 ④雑収益	3,352	43,692	▲ 40,340	
13 雑収入	1,836	42,140	▲ 40,304	
14 受取利息	1,516	1,552	▲ 36	
15 経常収益計	16,295,851	17,370,455	▲ 1,074,604	
16 (2) 経常費用				
17 印刷製本費	2,021,932	1,870,773	+ 151,159	
18 書籍刊行費	0	0	0	
19 刊行物購入費	135,928	300,074	▲ 164,146	
20 諸謝金	2,657,524	2,198,496	+ 459,028	『タイ国情報』執筆料、講演会の講師謝礼増加
21 通信運搬費	1,067,645	801,845	+ 265,800	タイへの書籍輸送・通関費用増
22 旅費	618,898	522,739	+ 96,159	
23 消耗品費	217,362	205,091	+ 12,271	
24 パーティ費	1,339,076	508,481	+ 830,595	「納涼の夕べ」費用増
25 会議費	93,659	111,999	▲ 18,340	
26 会場費	45,000	25,000	+ 20,000	
27 大使館行事関係費	118,800	68,250	+ 50,550	
28 雑支出	0	3,675	▲ 3,675	
29 臨時支出	0	0	0	
30 支払手数料	151,550	165,410	▲ 13,860	
31 賃借料	2,039,142	1,977,912	+ 61,230	図書館事業(公5)・管理費に各50%配賦
32 光熱水料費	204,418	199,200	+ 5,218	図書館事業(公5)・管理費に各50%配賦
33 清掃費	206,880	201,600	+ 5,280	図書館事業(公5)・管理費に各50%配賦
34 租税公課	1,440	1,440	0	
35 消耗什器備品費	8,234	467,163	▲ 458,929	前年度はWindows XPサポート切れ対応実施
36 減価償却費	0	0	0	
37 役員報酬	2,400,000	2,400,000	0	
38 給与・賞与	3,456,000	3,456,000	0	
39 通勤手当	444,000	443,200	+ 800	
40 社会保険料	633,978	615,424	+ 18,554	
41 福利厚生費	26,845	26,250	+ 595	
42				
43 経常費用計	17,888,311	16,570,022	+ 1,318,289	
44 評価損益等計	0	0	0	
45 当期経常増減額	▲ 1,592,460	800,433	▲ 2,392,893	

科 目	実 績	25年度(26年3月期) 通年実績額	差 異 (A-B)	備 考
46 2. 経常外増減の部				
47 (1) 経常外収益	53,400	337,000	▲ 283,600	
48 資産評価益	53,400	337,000	▲ 283,600	
49 (2) 経常外費用				
50 当期経常外増減額	53,400	337,000	▲ 283,600	
51 当期一般正味財産増減額	▲ 1,539,060	1,137,433	▲ 2,676,493	
52 一般正味財産期首残高	28,389,832	27,252,399	+ 1,137,433	
53 一般正味財産期末残高	26,850,772	28,389,832	▲ 1,539,060	
54 II 指定正味財産増減の部				
55 指定正味財産期首残高	0	0	0	
56 指定正味財産期末残高	0	0	0	
57 III 正味財産期末残高	26,850,772	28,389,832	▲ 1,539,060	

平成27年3月期 正味財産増減計算書内訳表

(平成26年4月1日 から 平成27年3月31日まで)

公益財団法人日本学生協会  
[単位:円]

科 目	公益目的事業					その他事業			法人会計 (管理費)	合計	26年3月期 通期実績	差異 (A-B)	27年3月期 予算	差異 (A-C)
	公1 (機関誌)	公2 (刊行)	公3 (講座会)	公4 (寄附)	公5 (図書館)	公益共通	公益小計	親睦事業						
1 一般正味財産増減の部														
2 1. 経常増減の部														
3 (1) 経常収益														
4 ①基本財産運用益														
5 ②受取会費														
6 ③貸助会費	4,042,257	646,761	1,131,831	646,761	1,616,302					4,750	4,750	0	4,750	0
7 ④事業収益														
8 機関誌発行・書籍発行事業	101,221													
9 講座会・セミナー事業			16,000											
10 図書館運営事業					1,500									
11 ⑤雑収益														
12 雑収入														
13 受取利息														
14 経常収益計	4,143,478	646,761	1,147,831	646,761	1,618,402	1,516			1,836	1,836	40,304	0	1,200	+316
15 (2) 経常費用	2,021,932								7,277,901	16,169,028	17,159,055	▲990,027	17,300,000	▲1,130,972
16 印刷製本費														
17 書籍刊行費														
18 諸謝金	1,935,500	201,012	320,000	58,808	77,120									
19 刊行物購入費	190,314													
20 通信運搬費	79,300	40,972	58,153	47,580	41,918									
21 旅費	46,875	18,749	46,875	28,125	46,875									
22 消耗品費	2,800	1,000	800	2,400	1,000									
23 パーティ費														
24 会議費														
25 会費														
26 大使館行事関連費														
27 雑支出														
28 支払手数料														
29 賃借料														
30 光熱水料費														
31 消耗品費														
32 租税公課														
33 減価償却費														
34 役員報酬														
35 給与・賞与														
36 通勤手当														
37 社会保険料														
38 福利厚生費														
39 経常費用計	5,794,810	775,112	1,752,413	1,402,444	2,649,083	199,642			17,888,311	16,570,022	▲1,318,289	17,364,360	▲523,951	
40 経常増減額	▲1,651,332	▲128,351	▲604,582	▲755,683	▲1,030,681	▲193,376			▲1,592,460	800,433	▲2,392,893	44,090	▲1,636,550	
41 2. 経常外増減の部														
42 (1) 経常外収益														
43 資産評価益														
44 (2) 経常外費用														
45 当期経常外増減額														
46 当期経常増減額														
47 繰前正味財産増減額	▲1,651,332	▲128,351	▲604,582	▲755,683	▲977,281	24,164								
48 一般正味財産期首残高	8,804,462	1,248,418	2,280,666	1,525,161	3,711,863	183,661								
49 一般正味財産期末残高	6,653,131	1,120,067	1,676,084	769,478	2,734,582	14,449								
50 指定正味財産増減の部														
51 指定正味財産期首残高														
52 指定正味財産期末残高														
53 正味財産期末残高	6,653,131	1,120,067	1,676,084	769,478	2,734,582	14,449								
54 正味財産期首残高	8,804,462	1,248,418	2,280,666	1,525,161	3,711,863	183,661								
55 正味財産期末残高	6,653,131	1,120,067	1,676,084	769,478	2,734,582	14,449								
56 経常増減額														
57 経常外増減額														
58 正味財産期末残高	6,653,131	1,120,067	1,676,084	769,478	2,734,582	14,449								

## 平成26年度（平成27年3月期）財産目録

（平成27年3月31日現在）

〔単位：円〕

	科 目	金 額	使 用 目 的 等
1	I 資産の部		
2	1. 流動資産		
3	現金	0	
4	普通預金		
5	三井住友銀行日本橋支店	2,074,598	
6	三井住友銀行日本橋支店 <預り金口>	110,767	
7	三菱東京UFJ銀行日本橋支店	11,484	
8	普通預金計	2,196,849	
9	振替貯金	57,399	
10	定期預金		
11	三菱東京UFJ銀行日本橋支店	4,000,000	
12	定期預金計	4,000,000	
13	流動資産計	6,254,248	
14	2. 固定資産		
15	基本財産		
16	定期預金		
17	三井住友銀行日本橋支店	19,000,000	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業共用の財源として使用している。
18	基本財産計	19,000,000	
19	その他固定資産		
20	図書館所蔵書籍	1,161,756	公益目的保有財産であり、図書館運営事業(公5)に100%使用している。
21	敷金	470,934	三井住友銀行 神保町ビル別館2階 60.69㎡。共有財産であり、うち50%は公益目的事業として公益事業(公5)の用に供し、50%は管理運営の用に供している。
22	電話加入権	74,600	共有財産であり、うち50%は公益目的事業として公益事業の用に供し、50%は管理運営の用に供している。
23	什器備品 (東芝製プリンタ複合機Studio232)	1	公益目的保有財産であり、100%を公益目的に使用している。
24	その他固定資産計	1,707,291	
25	固定資産合計	20,707,291	
26	資 産 合 計	26,961,539	
27	II 負債の部		
28	1. 流動負債		
29	預り金		
30	源泉所得税	73,802	執筆・講演謝金、役員報酬、給与に係る源泉所得税
31	社会保険料	36,965	健康保険料、厚生年金保険料
32	預り金計	110,767	
33	負 債 合 計	110,767	
34	正 味 財 産	26,850,772	

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は、法人税法に規定する次の方式を採用している。

有形固定資産： 定額法

#### (2) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は税込方式により行っている。

### 2. 会計方針の変更

平成 18 年度より、新公益法人会計基準(平成 16 年 10 月 14 日改正)を適用している。